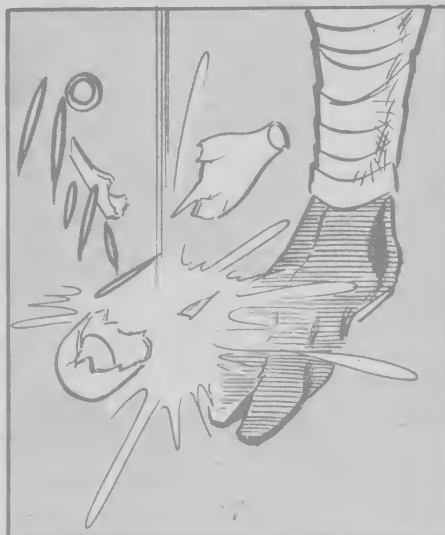


風太郎

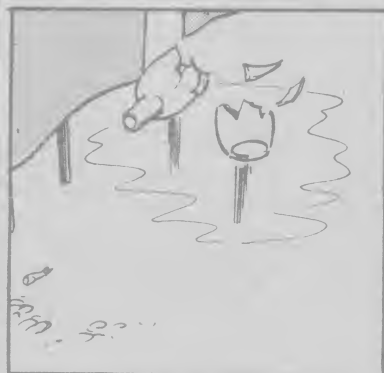
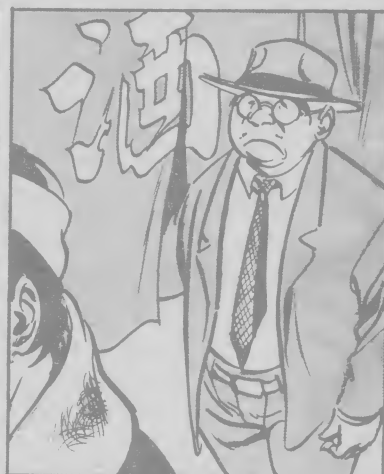
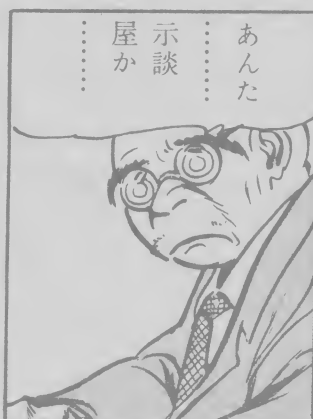


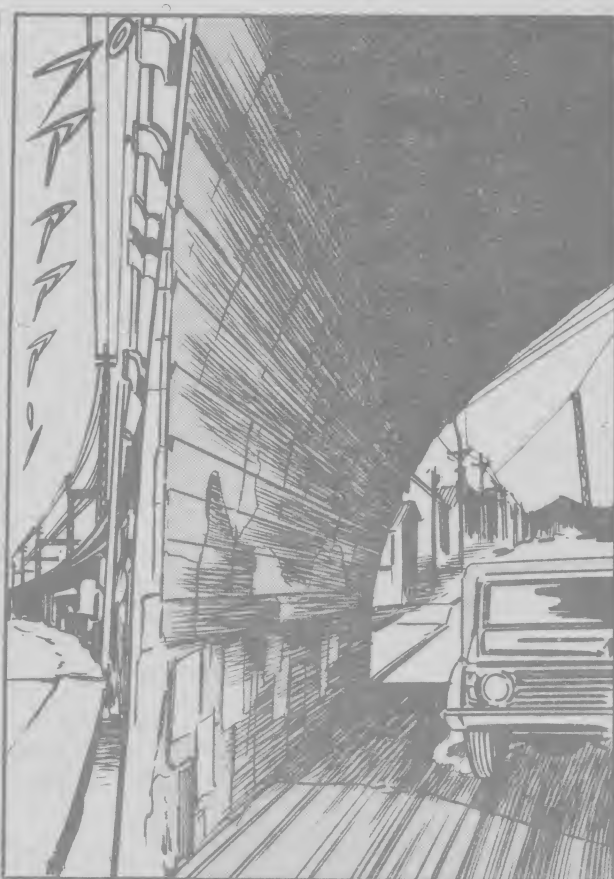
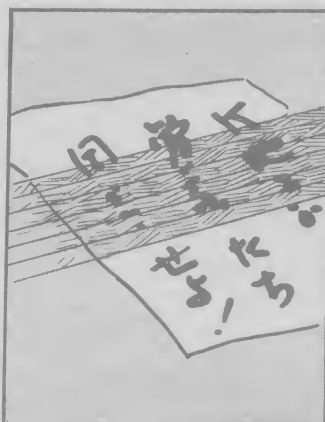
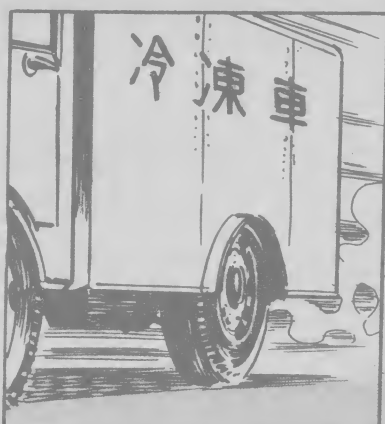
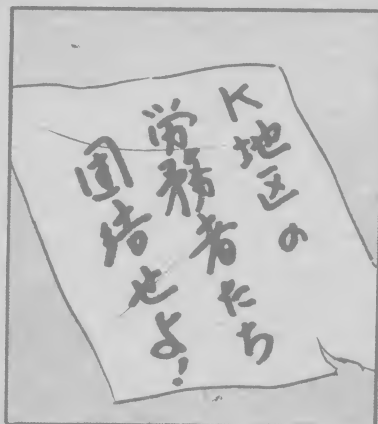
②無風時間

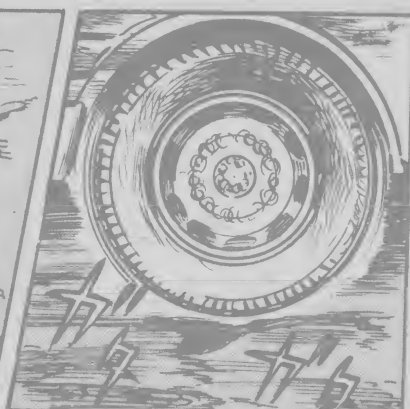
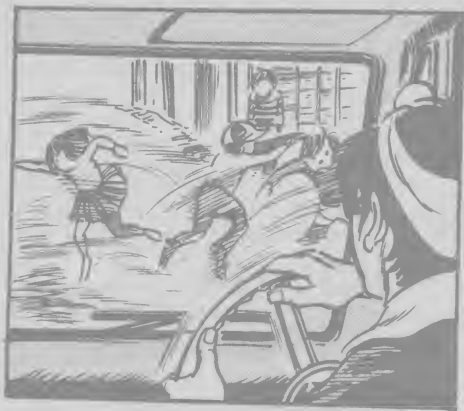
池上遼一

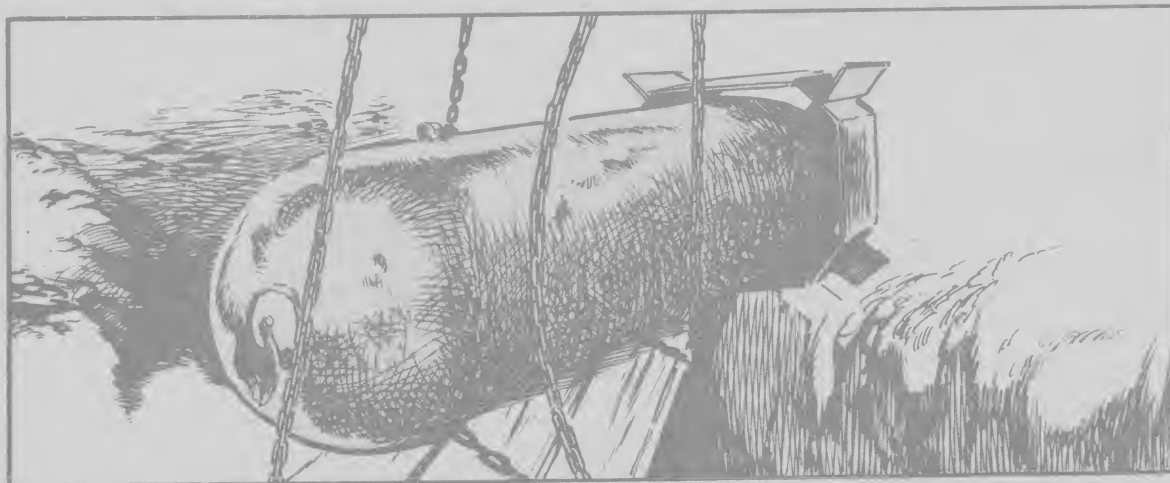














あんたらが掘り……掘り出したんか!?



フン
自衛隊が聞いてあきれるわ

看板だけはえらい早いこと持って来よってからに



この危険地区の中で生活している俺たちの身にもなってみやがれ



発掘作業の予算がどうのこうのと……

とにかくお役所仕事にまかしたいたらいつのこっちゃわからん!



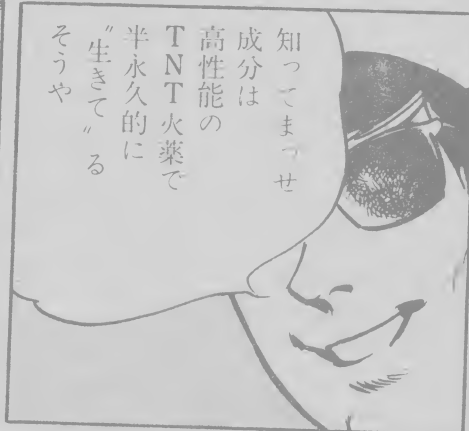
……そのかわり

俺たちがチョッピリこいつを利用させてもらおう思てな……へへへ

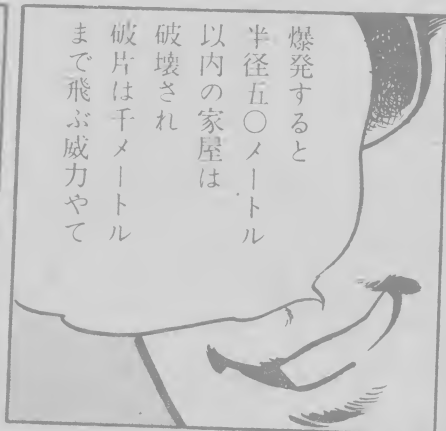


利用!?

こ、これは二五〇キロ爆弾やぞお!



知ってまっせ成分は高性能のTNT火薬で半永久的に“生きて”るそうや



爆発すると半径五〇メートル以内の家屋は破壊され破片は千メートルまで飛ぶ威力やて





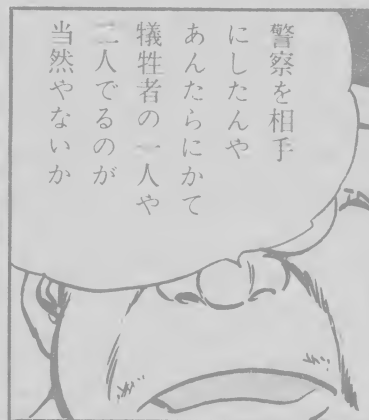
十五日間
降り続
いた雨
.....



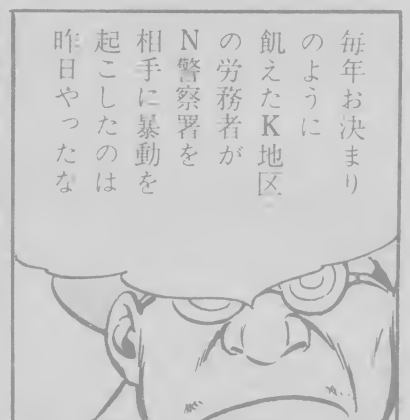
じつはな
俺たちの
仲間が
一人
N警察の
ポリ公に
殺されまし
てん.....



その人はな
.....



警察を相手
にしたんや
あんたらにかて
犠牲者の一人や
二人でるのが
当然やないか



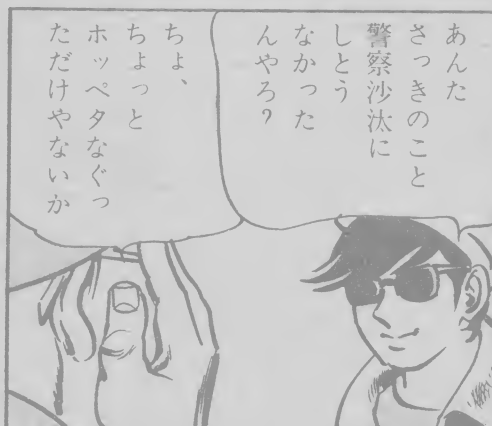
毎年お決まり
のように
飢えたK地区
の労務者が
N警察署を
相手に暴動を
起こしたのは
昨日やったな



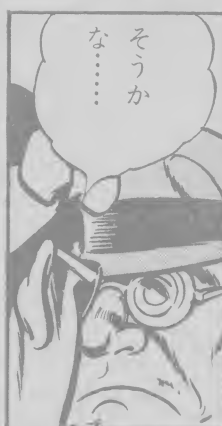
それが
どないしたん
や?
わしに関係の
ないこっちゃ



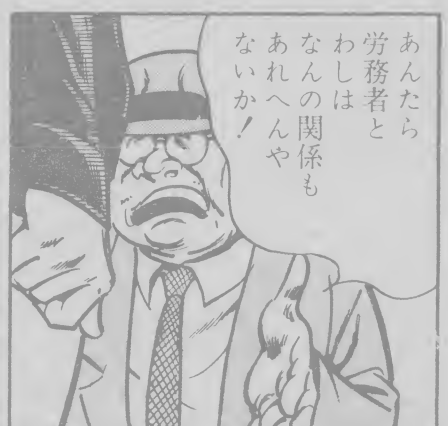
俺が病気で
ここへこがり
こんで来た時
から
面倒みて
くれはった
命の恩人や



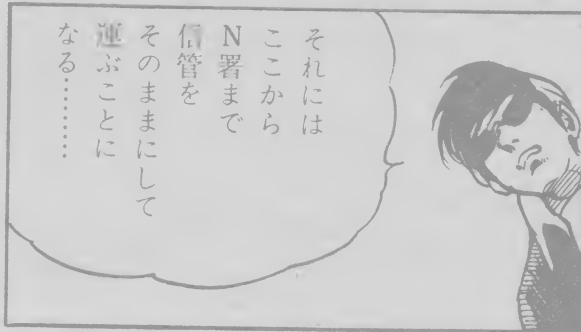
あんた
さっきのこと
警察沙汰に
しとう
なかった
んやろ?
ちよ、
ちよと
ホッペタなぐつ
ただけやないか

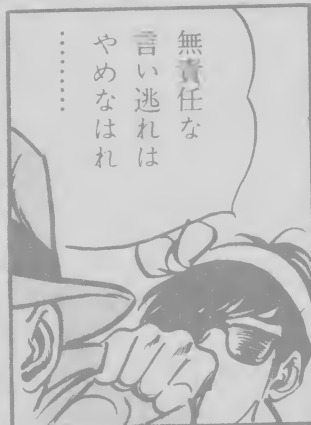
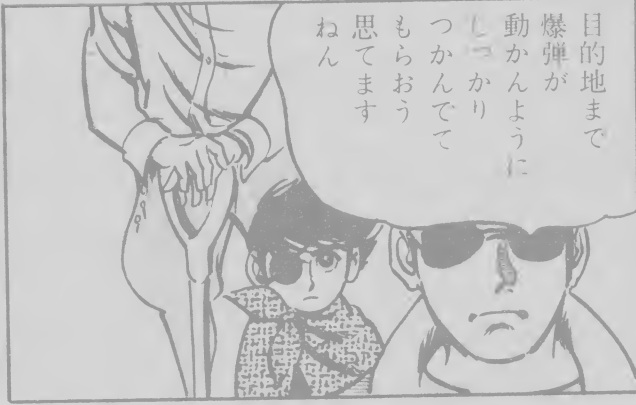
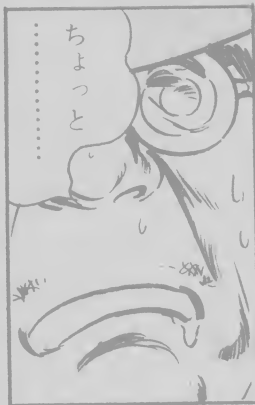


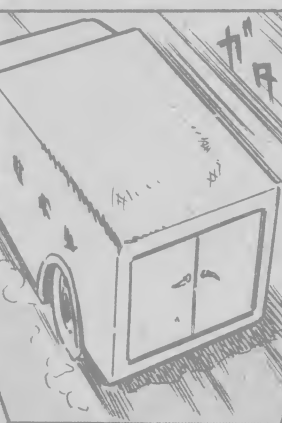
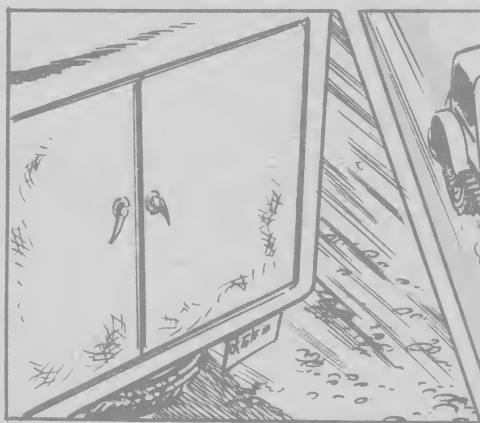
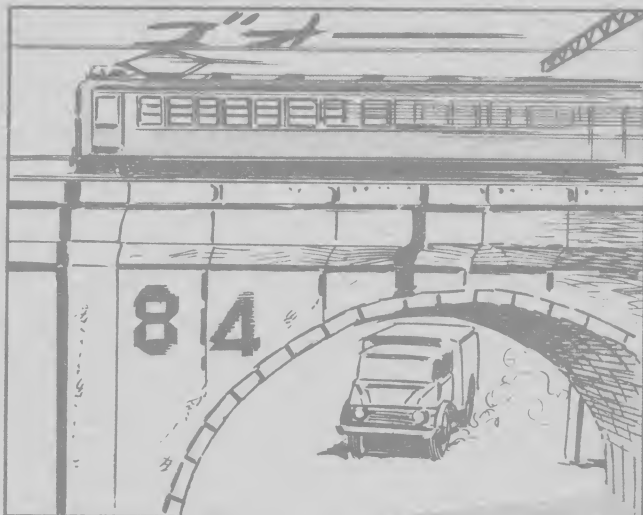
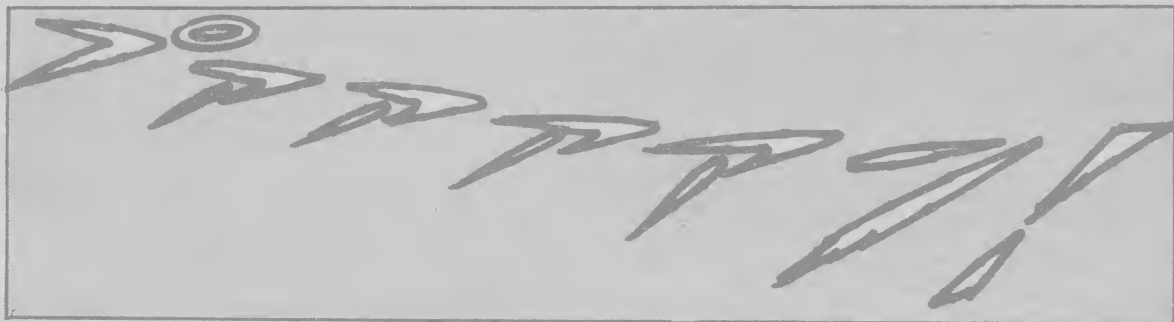
そうか
な.....

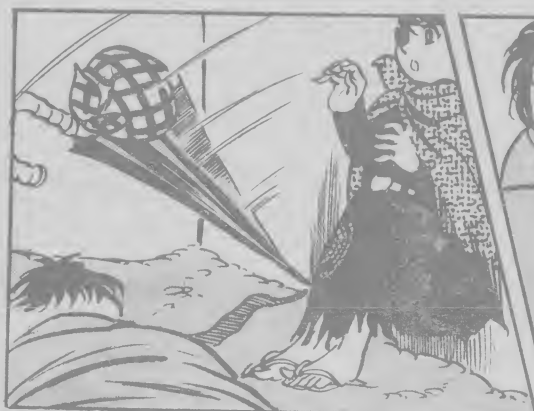


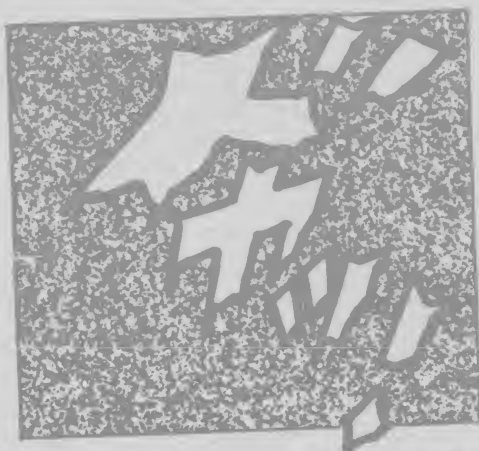
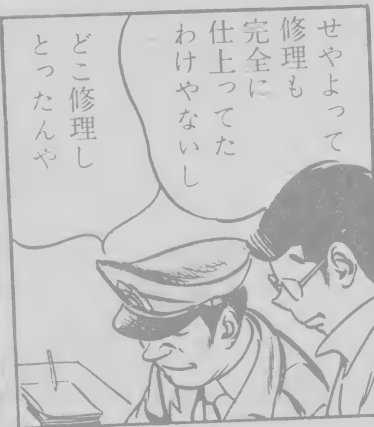
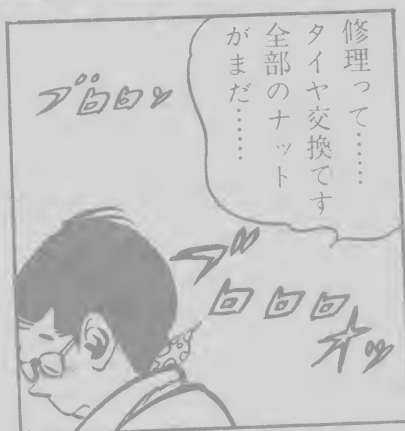
あんたら
労務者と
わしは
なんの関係も
あれへんや
ないか!



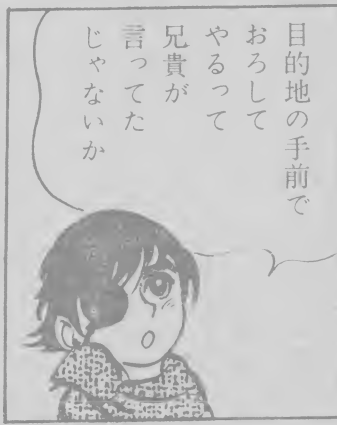
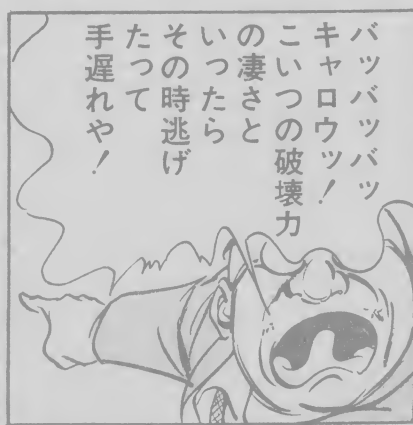
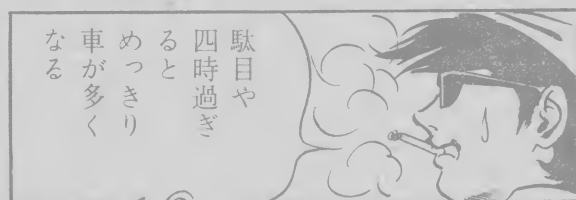
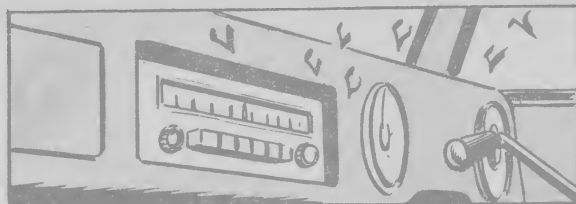
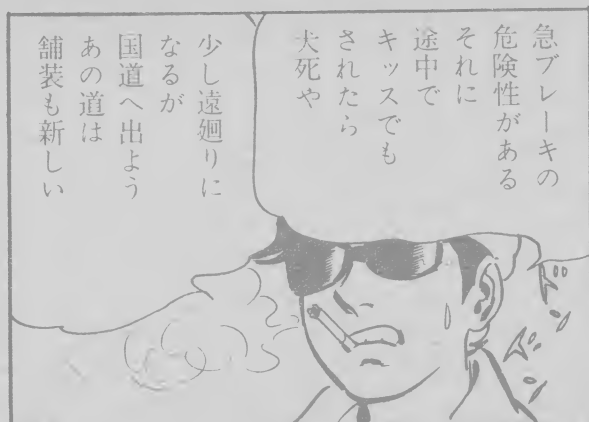


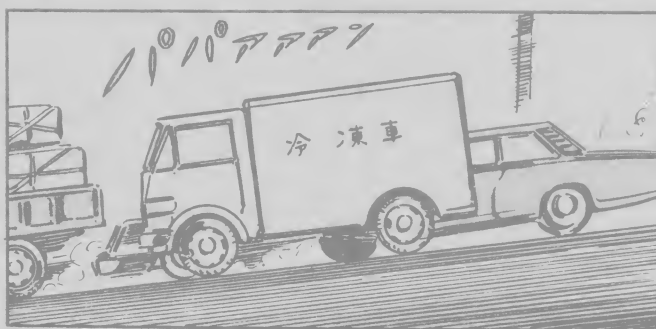
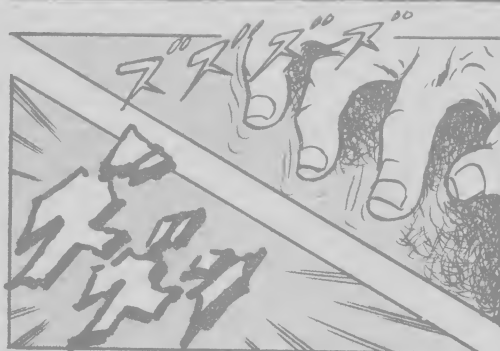


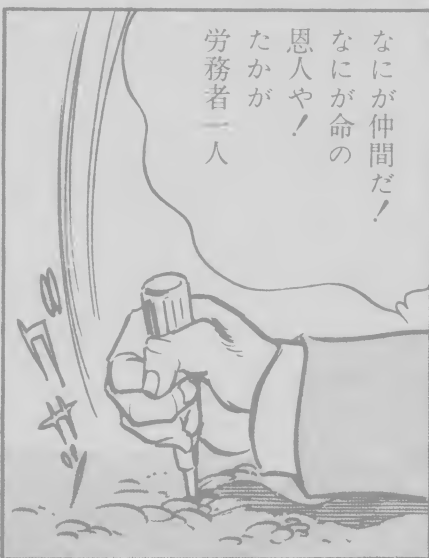
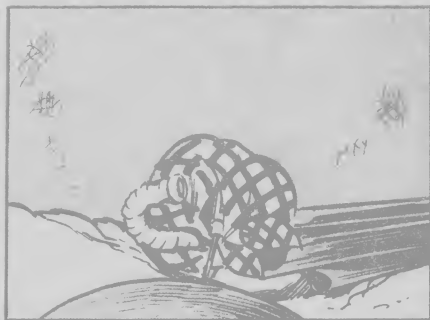
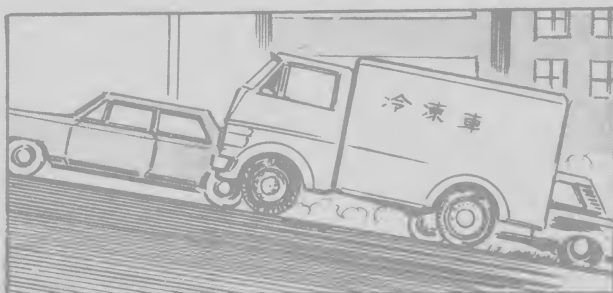
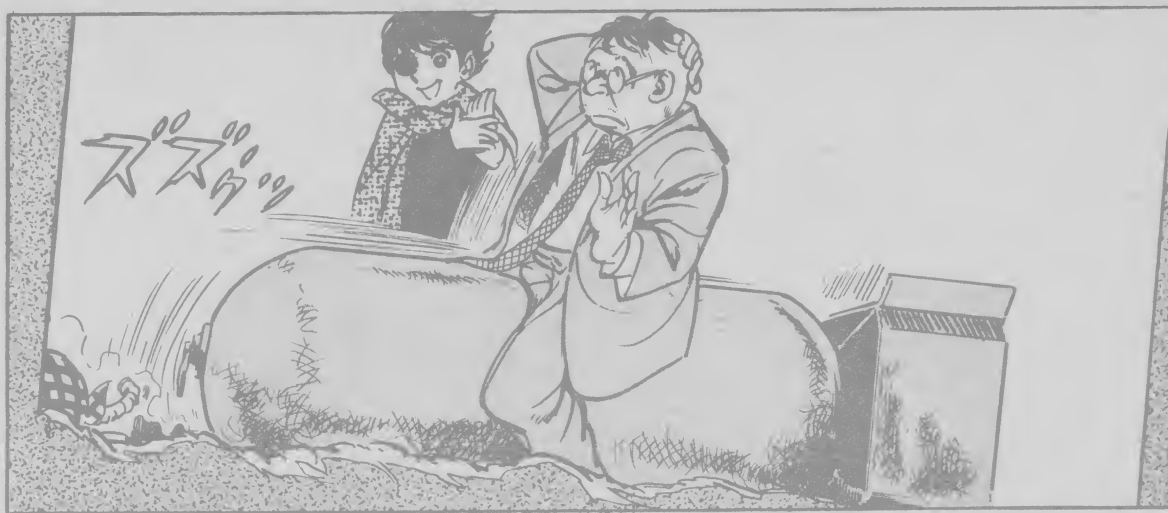


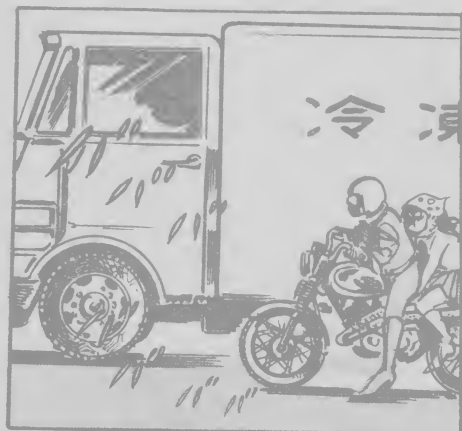
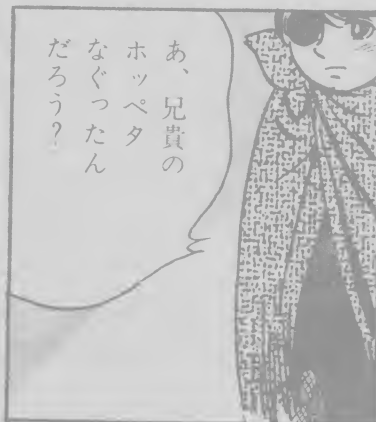
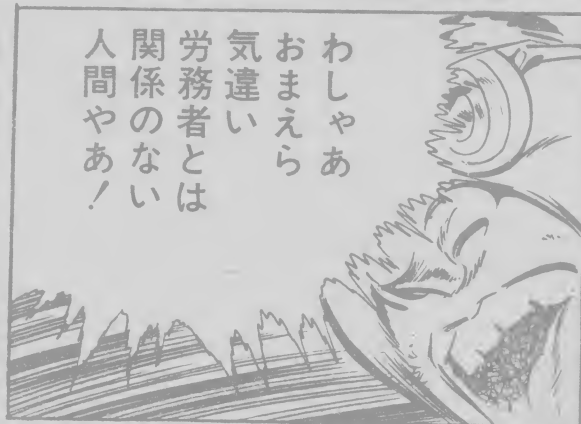
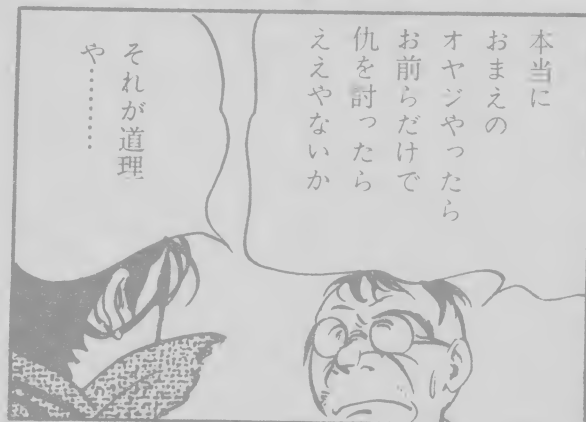


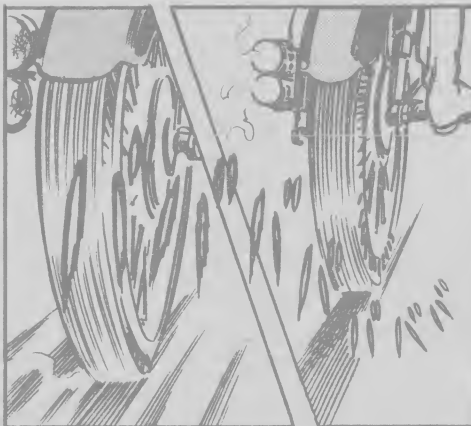
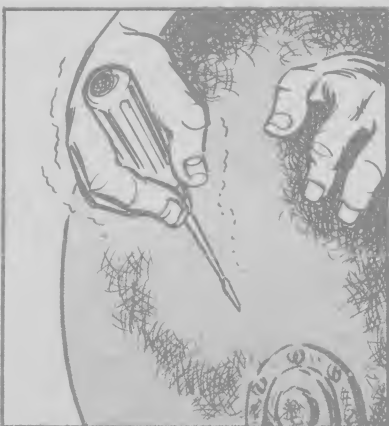
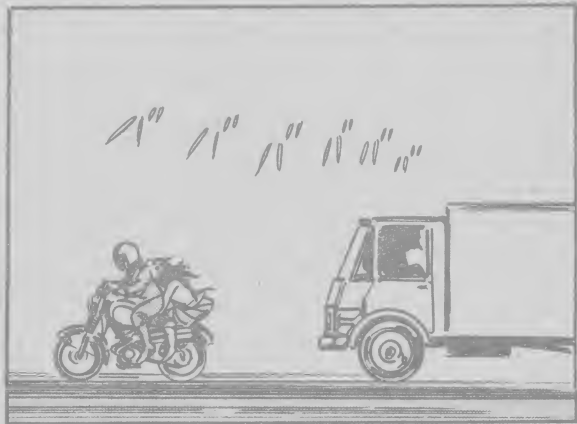


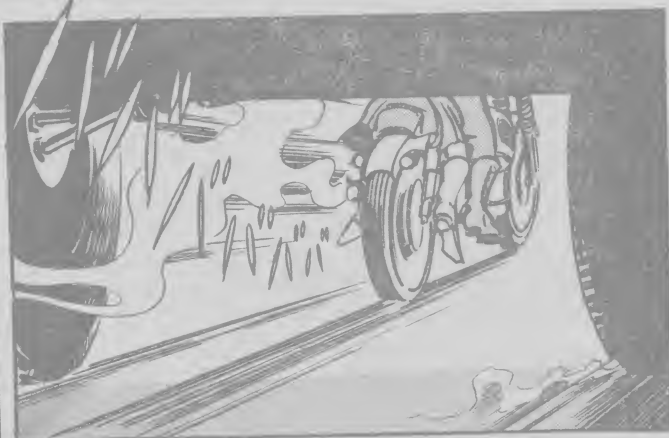
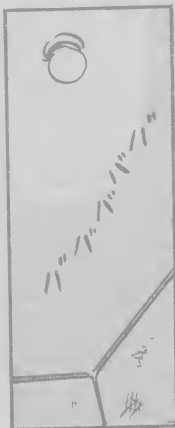
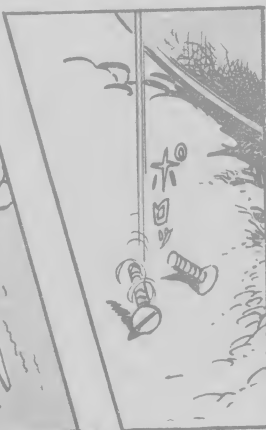


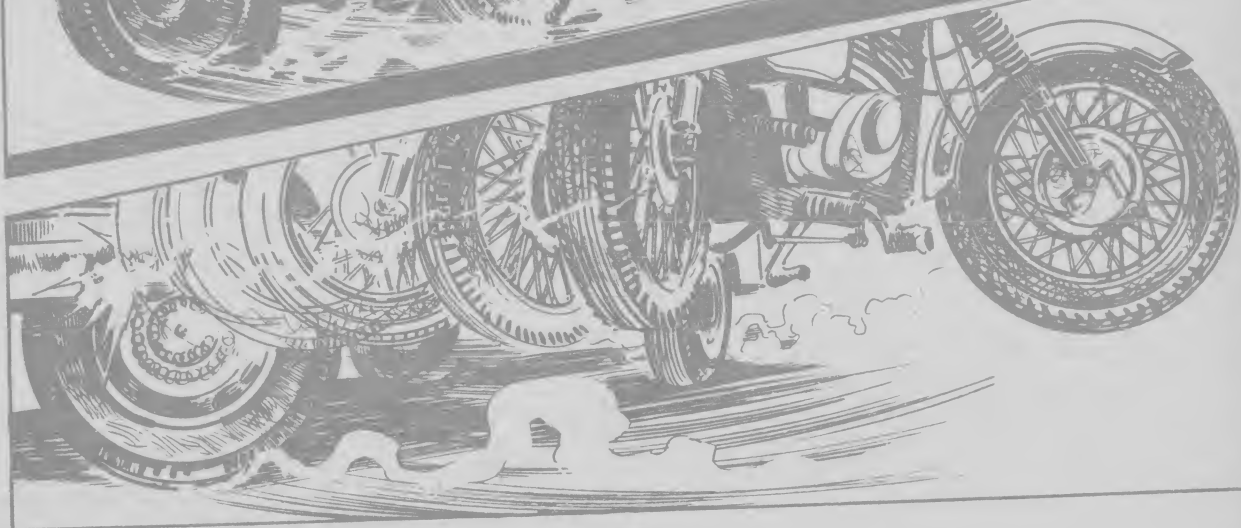
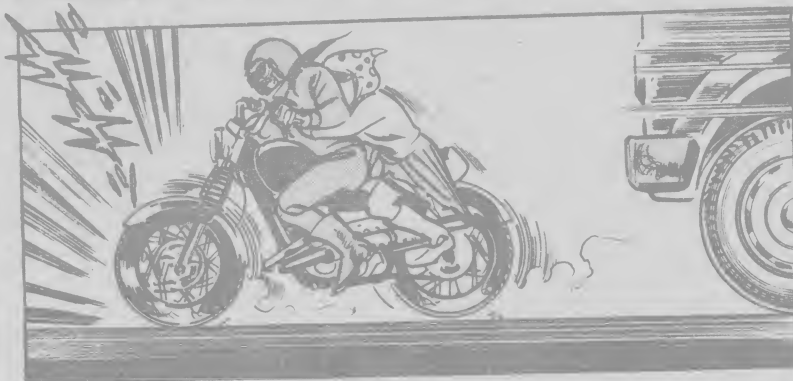
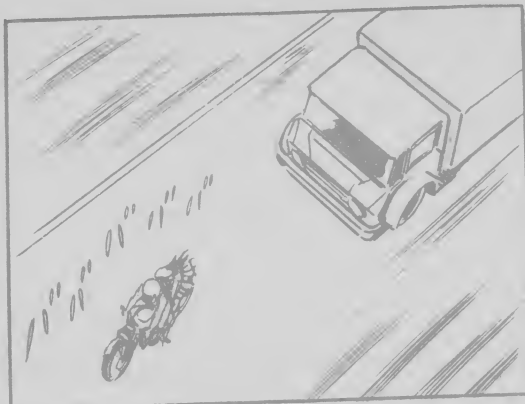
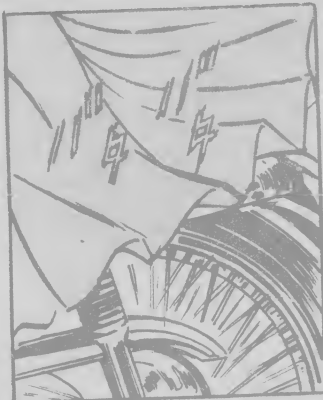


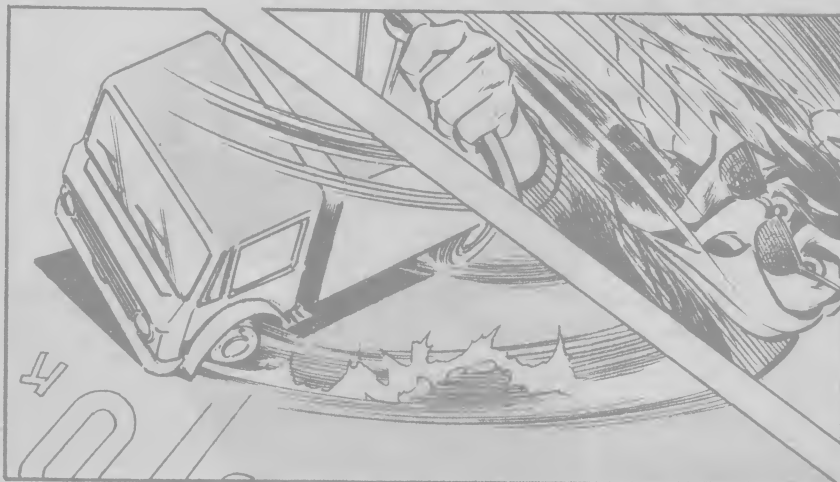
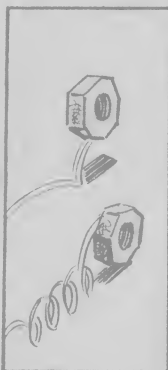
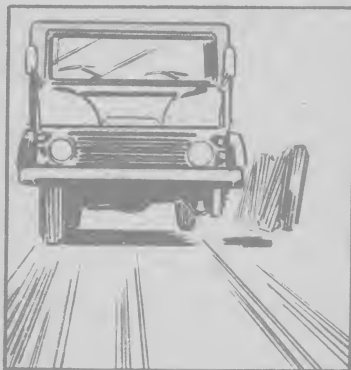
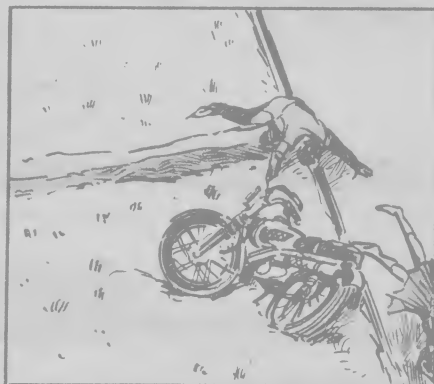
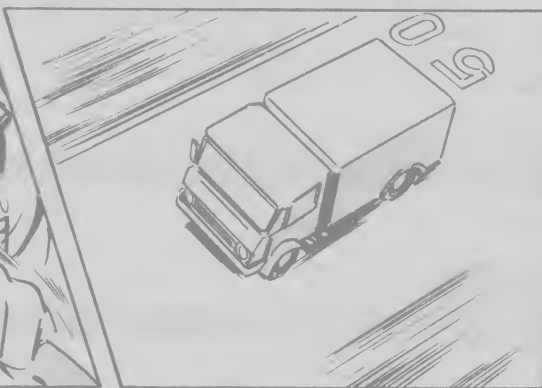


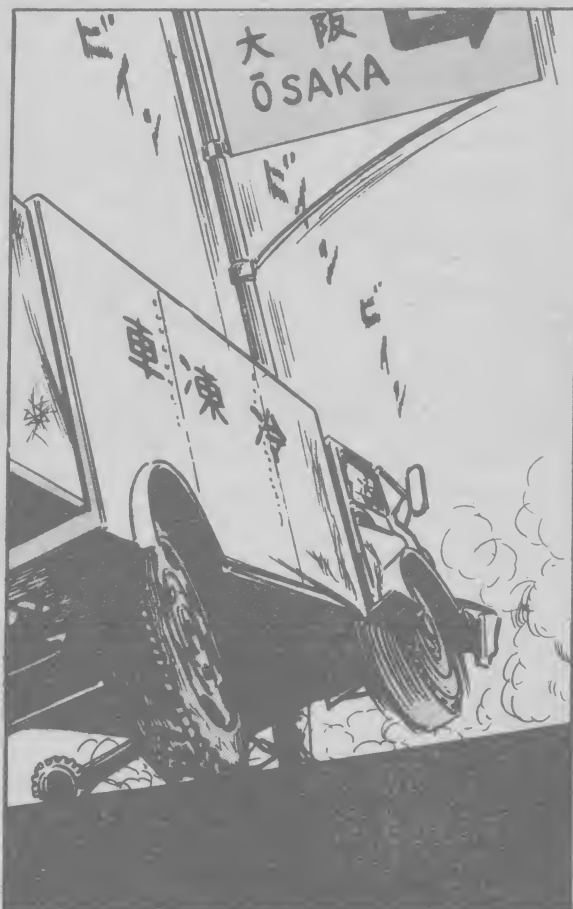
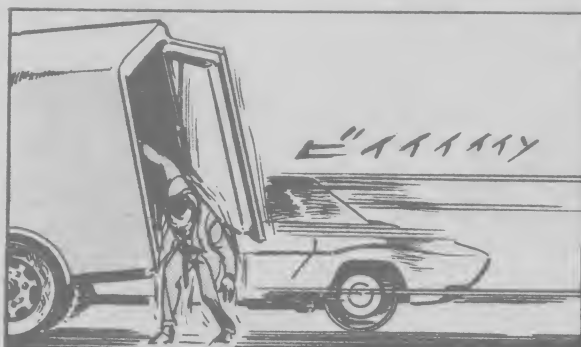
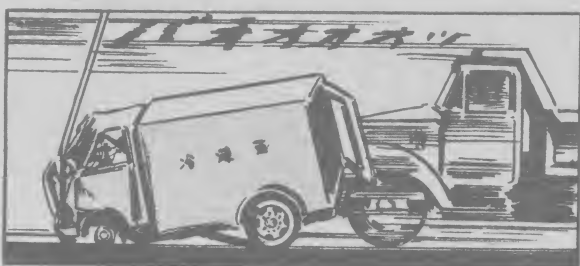
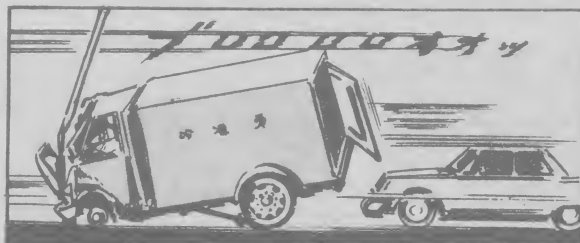








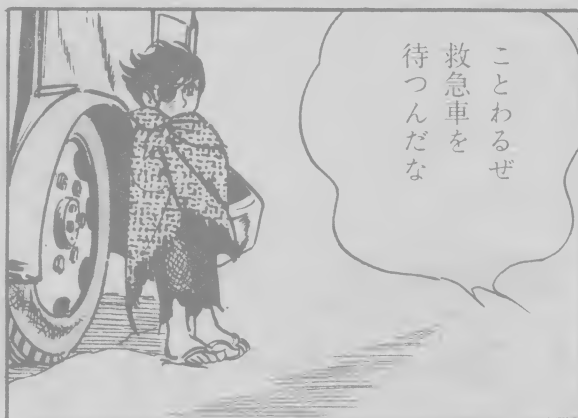
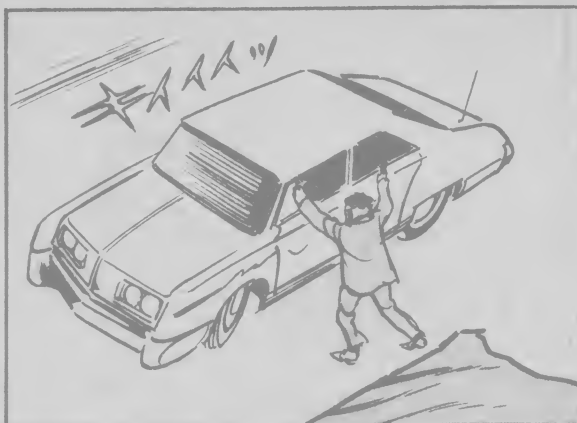


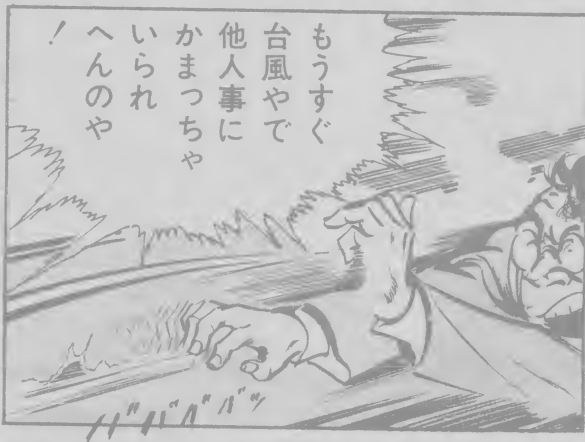
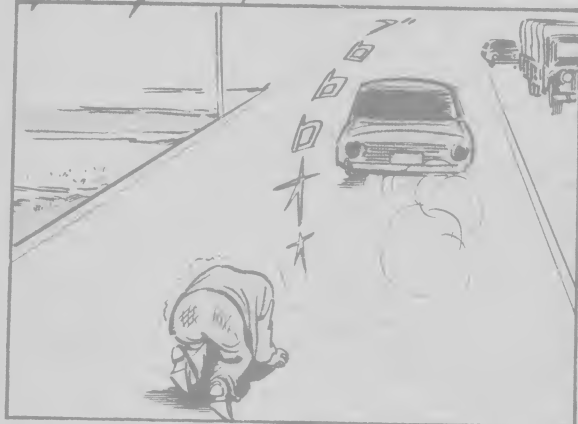


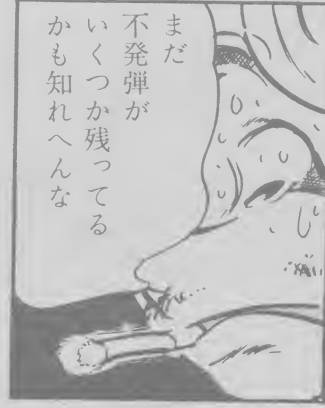
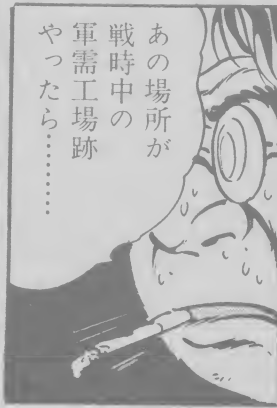


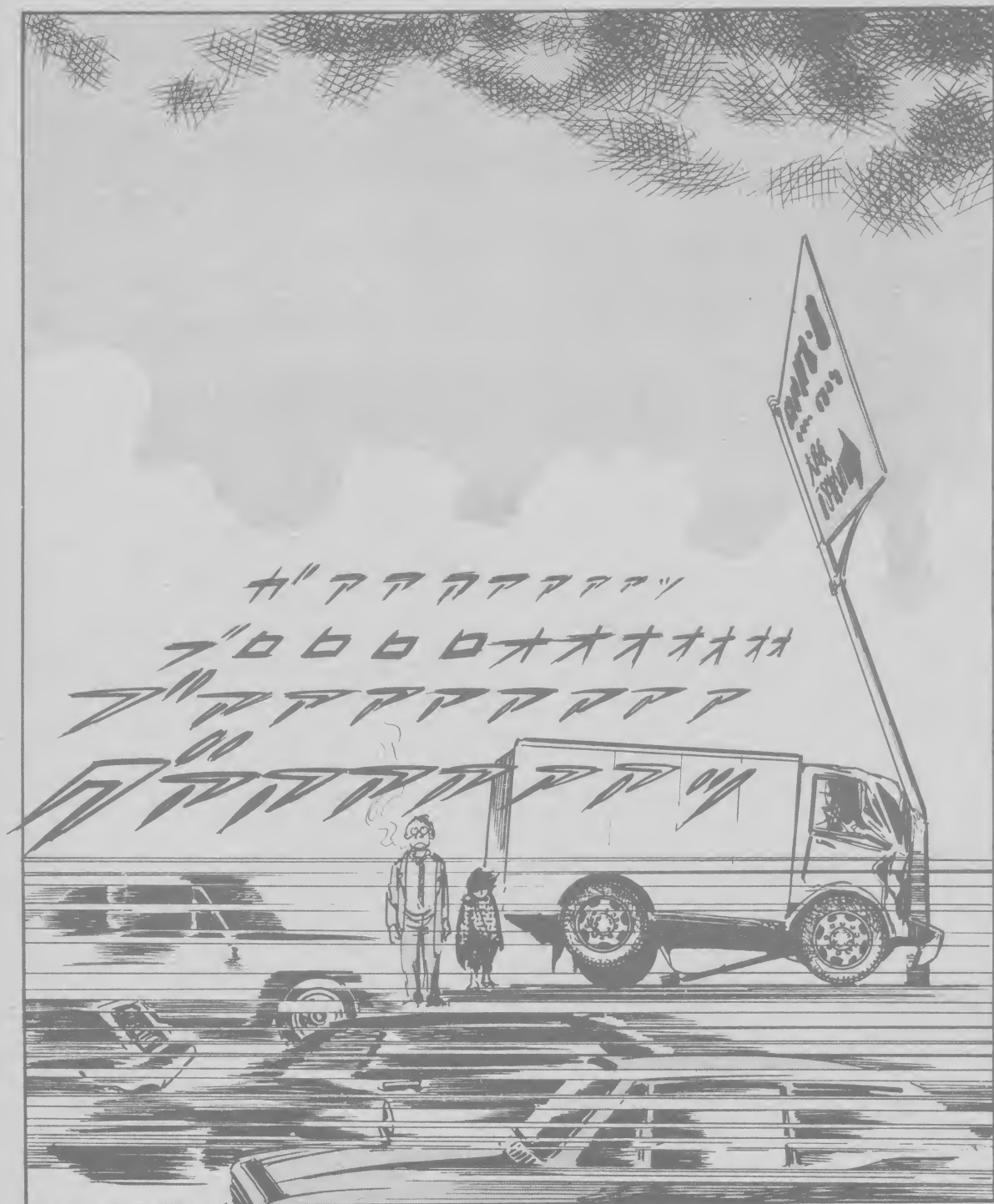
乗用車を 止めるんや

→オオ回向









風太郎

②

無風時間

完

1968・1

